

○檀山妙子・諸岡淳司
(長崎県総合農林試験場)

【目的】 カーネーション栽培は、現在1年1作の作型が定着しており毎年高い苗を購入することが農家の経営を圧迫している。このため、低コスト・省力生産技術の確立につながる多年切り栽培技術を確立し、カーネーション産地を強化する必要がある。しかし、多年切り栽培では、欠株や、秋季の切り花品質の低下等の問題がみられる。これらの問題の改善のため、切戻し時期と切戻し後の施肥開始時期を検討した。

【材料および方法】

1) 切戻し時期の検討

カーネーション「レジーナ」「デリカード」を隔離ベンチに2003年6月27日定植、2年据え置き栽培した後、2005年5月23日、6月1日、6月10日に20cmの高さで切戻した。切戻し後、灌水同時施肥で管理し、欠株率及び10月～12月の切り花品質を調査した。

2) 施肥開始時期の検討

カーネーション「レジーナ」を隔離ベンチに2003年6月27日定植し、2年据え置き栽培した後、2005年6月10日に切戻しを行った。施肥開始時期の検討を6月中旬施肥開始、7月中旬施肥開始、8月中旬施肥開始で行った。施肥量は切戻し後から8月20日までを、OKF-1でヶ月10a当たりN-P₂O₅-K₂O=1.8-1.0-2.0kg、8月20日以降を3.0-1.6-3.4kgで灌水同時施肥を行った。8月26日に萌芽径を調査し、また、10月～12月の切り花品質を調査した。

【結果及び方法】

1) 切戻し時期の検討

茎の硬さについては、2品種とも、切戻しが早い5月23日、6月1日切戻しでは、6月10日切戻しに比べ、10月、11月採花では下垂度が落ち、茎が柔らかくなった。12月採花では、切戻し時期による下垂度の差は小さくなり、茎が硬くなった(第1表、第2表)。欠株の発生は「レジーナ」は、5月23日、6月1日切戻しについては見られず、切戻し後から生育旺盛となったが、6月10日切戻し株では欠株が11%程度発生した。「デリカード」では欠株の発生はなかった(第1表、第2表)。カーネーション多年切りの切戻し時期については、切り花品質、採花本数の面から6月10日頃が適当と考えられた。しかし、「レジーナ」については、6月10日切戻しで欠株が発生したため、切戻し時期を早め、芽整理を早めに行うことで、欠株を起こさず、切り花品質

が改善される可能性があると考えられた。

第1表 「レジーナ」の切戻し時期の違いによる欠株率と切り花品質

切戻し時期	欠株率	採花開始	採花月	切り花重	輪数	※下垂度	1株当りの採花本数	
							本	本
5月23日切戻し	0 %	10/4	10月	21.6 g	3.3	3.9	0.5	0.5
			11月	24.2	3.5	2.7	1.3	
			12月	27.0	3.4	1.8	1.7	
6月1日切戻し	0 %	10/4	10月	23.8	3.8	4.5	0.4	0.4
			11月	24.9	3.8	2.9	0.9	
			12月	28.1	3.6	1.3	1.6	
6月10日切戻し	11.1 %	10/20	10月	22.3	3.8	2.6	0.3	0.3
			11月	25.2	3.9	1.6	0.9	
			12月	28.2	3.8	1.8	1.1	

※下垂度は0°=0とし、90°までを9段階に分類した数値

第2表 「デリカード」の切戻し時期の違いによる欠株と切り花品質

切戻し時期	欠株率	採花開始	採花月	切り花重	輪数	下垂度	1株当りの採花本数	
							本	本
5月23日切戻し	0 %	10/6	10月	14.8 g	4.4	4.4	0.6	0.6
			11月	17.7	3.9	2.4	1.7	
			12月	21.4	3.8	2.3	2.0	
6月1日切戻し	0 %	10/4	10月	15.0	3.5	3.0	0.3	0.3
			11月	17.1	4.3	3.6	1.9	
			12月	19.2	3.5	2.3	1.6	
6月10日切戻し	0 %	10/12	10月	15.3	4.7	2.7	0.4	0.4
			11月	17.4	4.1	2.2	1.7	
			12月	19.8	3.9	2.1	2.0	

2) 施肥開始時期の検討

切戻し後の施肥開始が早いほど、平均萌芽径が大きく、萌芽径の大きい芽の割合が多く萌芽箇所での茎曲がりや軽減した(第3表)。切り花品質については、8月中旬施肥開始で、10月に下垂度が落ち、茎が柔らかくなった(第4表)。このことから、カーネーションの多年切り栽培では、切戻し後施肥開始が早いほど萌芽径は大きくなり、8月の施肥開始では切り花品質が低下するため、7月中旬までに施肥を開始するのが望ましいと考えられた。

第3表 「レジーナ」の切戻し後の施肥開始時期の違いが萌芽径に及ぼす影響

施肥開始時期	欠株率	萌芽径					平均萌芽径
		～1.4mm	1.5～1.9mm	2.0～2.4mm	2.5～2.9mm	3.0mm～	
6月中旬施肥開始	0 %	37.5 %	40.6 %	12.5 %	9.4 %	2.11 mm	
7月中旬施肥開始	18.5	24.6	40.0	16.9	0	1.98	
8月中旬施肥開始	22.6	45.2	8.1	24.2	0	1.88	

第4表 「レジーナ」の施肥開始時期の違いによる切り花品質

施肥開始時期	採花月	採花開始	切り花重	下垂度	1株当りの採花本数	
					本	本
6月中旬施肥開始	10月	10/20	22.1 g	2.6	0.5	0.5
	11月		24.7	2.5	0.8	0.8
	12月		27.2	1.2	0.7	0.7
7月中旬施肥開始	10月	10/20	22.4	2.0	0.5	0.5
	11月		25.4	2.1	1.1	1.1
	12月		27.6	1.2	1.5	1.5
8月中旬施肥開始	10月	10/14	21.0	5.5	0.2	0.2
	11月		25.0	2.3	0.7	0.7
	12月		29.0	1.2	0.5	0.5